



藤河議員

Q 北部農道の延長について

A ルートや用地確保などで課題がある（上馬場建設部長）

平谷地区へは概略設計などを行ったが、ルートや用地確保などの課題により、実施に至っていない。平谷地区は、県道の渋滞緩和策について多方面で検討していきたい。

県道瀬野呉線は、朝夕の通行量が増大している。北部農道を新宮が阿戸に近い方まで延長できないか。また、出来庭から平谷まで延長する計画はないか。

A

新宮方面への延伸は、ルートや用地確保などの課題で中止となった。また、現政権下では、農道の予算確保は困難な状況。現在は、県道瀬野呉線バイパス構想の促進、町道深原公園線などの整備が新宮、初神地区では有効と考えている。

Q

民生部門

Q 「ペット先進町」を目指して

A 動物愛護の集いを計画している（広田生活環境課長）

動物愛護を推進していくには、飼い主のモラルの向上、動物取扱業者に対する指導と規制、命を慈しむ心の育成が重要であると考えている。平成23年度に動物愛護の集いを開催し、命の大切さはもとより、動物との触れ合い、しつけやマナーについて考える機会となるよう現在計画している。

ペットを飼う人が急増しているが、虐待や放棄が後を絶たない。人とペットが共生できる「ペット先進町」を目指してもらいたい。



福垣内議員



山野議員

Q 子宮頸がんのワクチンを公費で投与

A 国・県等の取り組みの状況などを踏まえ検討していきたい（宗條健康課長）

厚生労働省が法定接種とすることの検討を始めるという。全国町村会からも政府に法定接種の実現を働きかける。今後、法定化に向けてワクチンの有効性や安全性などが更に検討されるものと思われる。接種の奨励にも通じる費用助成は慎重に検討する必要がある。また、人口流動等を考えると、法定化までは広域的に取り組むべきものと考えている。国の検討状況、県による対策や県内市町の取り組みの動向等を踏まえ、検討していきたい。

ワクチン接種が、子宮頸がんの効果があるため、町でも取り組んでいただきたいと思うがどうか。

A

Q

建設部門

南田議員

Q 町(東部地区)の道路行政について

A 県道瀬野呉線バイパスを構想している（三村町長）

このたび都市計画マスタープランに当バイパス構想、また周辺地区を道路整備に対応した基盤整備地区に位置づけ、当地域が段階的に整備できるように努力しているところである。

三村町長は前平本町政を承継しての町長であり、その遺志であった東部新宮方面への道路行政を進行させていきたい。



黒瀬トンネル付近の工事（萩原地区）

A

Q

Q 受迫共有地について

A 受迫についての考え方を今後も整理していきたい（三村町長）

受迫共有地に係る問題は、個々に条件が異なっており、個々に対応を検討すべきと考えている。過去にも質問をいただいているが、何代もの町長がこの問題にかかわり、明確な解決が見えていないということは十分認識している。経緯や法的問題などを研究し、受迫についての考え方を今後も整理していきたい。

明治22年及び23年の議会議事録を見ると、個人への登記ではなく、迫への水利問題の登記と考える。受迫には人格もなく住所がないので、熊野町の所有として更正登記ができる。町はこの土地を誰の所有と考えているのか。

A

Q



佛圓議員

Q 農業の戸別所得補償制度について

A 関係機関等と協議しスムーズに実施したい（三村町長）

戸別所得補償制度は、農家に農業所得の補償を行い、農業を継続できる環境を整えるなど、農業再生を目的とするもの。本町も農家から計画書及び申請書が提出され、整理を行っている。本町の加入申込者は、農家数929戸のうち205戸。今後は、記載内容や田畑の確認作業等を実施し、最終的に助成金交付申請書を農政局へ提出する。問題点は、田畑の確認作業の具体的方法などがあるが、関係機関等と協議しスムーズに実施したい。

A

Q

戸別所得補償制度が、本年度からモデル事業として始まる。進捗状況、問題点は。